

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係17

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): 愛知大臣, マイヤー駐日米国他紙, 佐藤総理, マイヤー大使, ロジャース米国务長官, 吉野局長., スナイダー駐日米国公使, 返還協定調印式 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43727

式進子

進行係メモ

午後九時七分三〇秒

150

ただ今より沖繩返還協定の調印式が開始されます。国歌吹奏を行いますので、御起立願います。

(吹奏)

○

○

午後九時九分五五秒

御着席願います。

轉印に先立ち、ロジャース國務長官及び愛知外務大臣より御挨拶がござります。

3分35秒

2

○

○

午後九時一三分三〇秒

外務大臣どうぞ。

3

○
○

○
○

午後九時一七分

日本側愛知外務大臣、アメリカ側ロジャ
ーズ国務長官により協定へそれぞれ署名
が行なわれます。

4

○
○

○
○

午後九時一八分三〇秒

朝野は無事終了いたしました。
引続き佐藤内閣総理大臣の御挨拶がござります。

5

-
-
-
-

午後九時二二分三〇秒

ここでニクソン大統領の御挨拶がござります。
の代読

1分15秒

6

-
-
-
-

午後九時二四分三〇秒

引続き~~其の他~~の関連文書への署名が
愛知外務大臣とマイヤー大使との間
行なわれます。

7

○
○
○
○

午後九時三三分三〇秒

○
○

これにて沖繩返還に関する日米間の合
意文書の~~署名~~はすべて終了いたしました。
これより愛知外務大臣、マイヤー大使よ
り一言ずつ御挨拶がございます。

8

○
○
○
○

マイヤー

3分35秒

午後九時三七分三〇秒

(シャンペン配り)

9

-
-
-
-

午後九時三九分

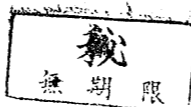
シラス
佐藤総理大臣の御発声により乾杯が行なわれます。

(乾杯)

シラス
以上をもちまして調印式は終了いたしました。皆様の御協力に感謝いたします。

10

-
-
-
-



返還協定調印式
(当日のロジスティックス案)

昭和46. 6. 17
アメリカ局北米第一課

1. 6月17日(木)

- 19:00 北米一課、条約課担当官本省発
19:05 同総理官邸着
(各担当官各配置につく。)
- 20:25 星立法院議長、平田主席判事(瀬長復帰準備
委顧問代理)琉球政府東京事務所発(警護つ
き。)
- 20:30 同総理官邸着
(到着後1階喫煙室へ案内)
- (20:30 臨時閣議)
- 20:30 マイヤー大使以下米側調印式参列者同大使公邸発
(コソヴォイを組んで出発。機動隊/コ大隊等
護衛つき)
- (経路 公邸一飯倉ランプから高速道路へ入り、
芝公園ランプで高速道路を下り、同ランプ
より逆方向の高速道路を入り、霞カ関ラン
プを出て官邸へ)
- 20:45 同大使以下総理公邸着
(到着後2階大客間米側控室へ案内)

- 20:55 出席者調印式場へ
21:00 調印式開会
(別紙/式次第参照)
- 21:40 調印式閉会
21:50 マイヤー大使以下米側一行総理官邸発米大使公
邸へ
(往路と逆経路)
- 21:55 星立法院議長、平田判事、瀬長顧問代理総理官
邸発琉政東京事務所へ
(日本側出席者適宜総理官邸発)

2. 外務省関係者

(1) 調印式参列者

- 竹内政務次官
森 事務次官
高瀬大使
東郷大使
吉野アメリカ局長
井川条約局長
千葉北米第一課長(進行係)
中島条約課長

(2) 担当事務官

(i) 官邸内待機者

松田(米保)、安藤、森本、池田(米北/)、池田、
新井、砂見、工藤、山岸(条約局、文書課)
大井、鹿野谷(情道)

(ii) 調印式場内

大鷹報道課長、谷口事務官、加藤、田中(米北/)
一直通電話係

有馬、柳井(条条)

(3) アメリカ局(事務局)

米北/事務官全員待機
(直通電話責任者 佐藤、古田、有地)

3. 米側出席者

別紙 2

4. 式場見取図

別紙 3

5. デモ状況

別紙 4

調印式次才

- 21.00 閣僚入場, 着席
05 総理, 官房長官, 外務大臣
マイヤー大使入場, 着席
- 国歌吹奏 (君が代 米国歌の順)
- 010 ロジャース長官挨拶
愛知大臣挨拶
- 017 協定調印
- 018 $\frac{1}{2}$ 佐藤総理挨拶
- 022 $\frac{1}{2}$ ニクソン大統領挨拶
- 025 その他の関連文書署名
- 033 愛知大臣挨拶
- 034 マイヤー大使挨拶
- 038 乾杯 (総理の発声による)
- 退 場

米側出席者リスト

46. 6. 17. 現在

§ 米側出席者 (前列着席者 序列)

1. Ambassador Armin H. Meyer
2. Minister Richard L. Sneider
3. Lieutenant General James P. Lampert, United States Army
4. Lieutenant General G. M. Graham, United States Air Force
5. Mr. Alan Carter, Minister-Counselor for Public Affairs,
6. Vice Admiral Walter L. Curtis, United States Navy
7. Major General Richard M. Lee, United States Army
8. Mr. Howard Meyers, Political/Military Counselor
9. Mr. William C. Sherman, Political Counselor
10. Mr. Peter W. Lande, Economic Counselor

§ 米側その他出席者 (後列 順不同)

○ 在米大使館

- Mr. Charles A. Schmitz, Legal Adviser
Mr. W. Lawrence Dutton, Jr., First Secretary
Mr. James J. Wickel, Special Assistant
Mr. Dalton V. Killion, Second Secretary
Mr. Thomas Parker, Jr., Second Secretary
Mr. David I. Hitchcock, First Secretary

○ 沖繩遠東交渉軍事顧問団

- Colonel C. Griffin Woody, United States Marine Corps
Captain Robert J. Harlow, United States Navy

○ 在日米軍

- Colonel Charles S. Townshehd, United States Air Force

○ 沖繩

- Colonel John A. Meads, Jr., United States Army

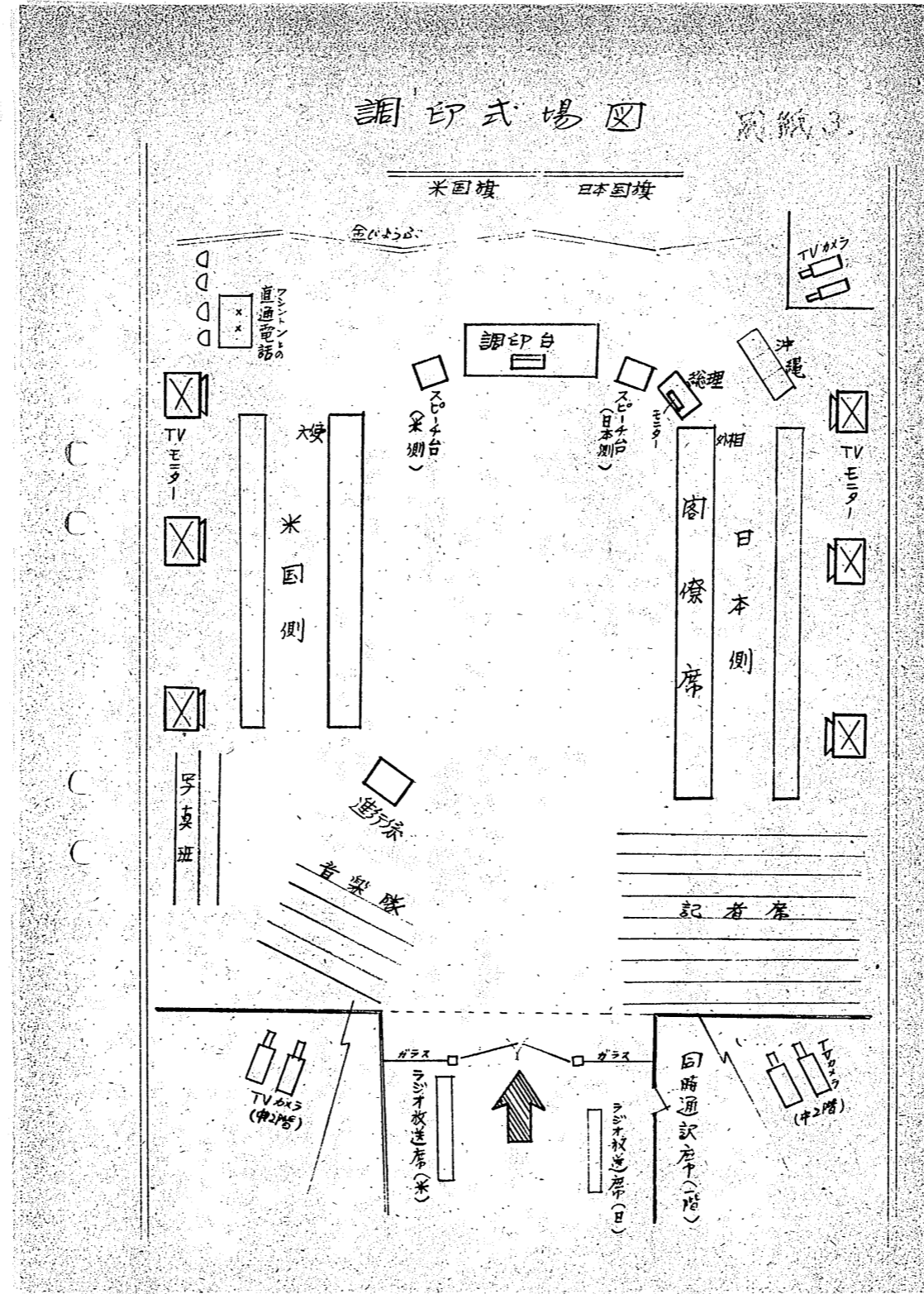
○ 國務省

- Mr. Charles Bevans, State Department

別紙2

調印式場図

図紙3



46-6-15 備1.連絡

6-17 沖縄返還協定調印阻止斗争一覽圖

(← 総評)

主催	反安保全国実行委員会 事務局次長 平礼敦巳
時間	集合 P 5.00 開会 P 6.00 予毛 P 7.15 解散 P 9.00
人員	35,000名
現費	新宿 コス 大木泰之 渋谷 コス 半越実雄 恵比寿 コス 伊藤 茂
会場	代々木公園B地区
解散地	新大塚 宇田川 原野 千通 渋谷 津田 谷川 公園 警察署 恵比寿 北沢 公園 警察署

(← 全共斗争)

主催	全国反戦・今野 求 全国全共斗 山本義隆 東京入管斗 横井 勝 関東反軍委 小西誠
時間	集合 P 4.30 開会 P 5.00 予毛 P 7.30 解散 P 9.00
人員	6,000名
現費	主催者10回じ
会場	明治公園(聖吉野球場)
解散地	日比谷公園西幸門

(← 解散派)

主催	6-17 実行委員会 代表 沢口電太
時間	集合 P 6.00 開会 P 6.30 予毛 P 7.15 解散 P 8.45
人員	1,000名
現費	渋谷電太
会場	宮下公園
解散地	日比谷公園西幸門

疎開公園
湯島三丁目～湯島7丁目
～聖橋～小川町～
美土代町～三軒町
鎌倉橋五丁目

(← 代々木系学生会)

主催	全日本学生自治会総連合 委員長 早乙女 珍
時間	集合 P 6.00 開会 P 6.30 予毛 P 7.30 解散 P 9.00
人員	5,000名
現費	手島繁一・滝本英市
会場	疎開公園
解散地	土橋



(← 去マル)

主催	全日本学生自治会総連合 委員長 洞田 勉
時間	集合 P 4.00 開会 P 5.00 予毛 P 7.30 解散 P 9.00
人員	2,500名
現費	情宣部長 山本 大
会場	日比谷大音楽堂
解散地	明治公園

(← 平連)

主催	10/17反戦10/17斗争 総反政府市民委員会 代表 福喜新耳
時間	集合 P 4.00 開会 P 4.30 予毛 P 7.00 解散 P 8.00
人員	1,000名
現費	松野哲二
会場	阪本公園
解散地	日比谷公園中幸門

「調印式」記載内容の訂正について

昭和四六・六・一七

外務省

さきに配付しました「調印式」の表紙(二ページ目)の出席者(一)(四)の記載内容を以下のとおり訂正いたします。

とあり訂正いたします。

一、井川条約局長のふりかへし和国情報文化

局長の橋 アメリカの参事官を追記する

二、中島条約課長の前にも事務担当者として

しての語句を挿入する。

返還協定調印式(当日のロジスティクス
案)記載内容の訂正について

昭和 46. 6. 17

アムカ局北米第一課

つきに添付した法標記印刷物 2ページ
目 2. 外務省関係者(1)の記載内

容をつおのとおり訂正いたします。

1. 井川参事局長のつおりに、和田情報
文化局長、橋本アムカ局参事官を

追記する。

2. 千葉北米第一課長(進行係)のあ
に「事務当局者として」を挿入する。

無期限

調印式

昭和四六、六、一七
外務省

一日時

昭和四十六年六月十七日(木)
二十一時(日本時間)より約四十分間

一 場所

總理官邸大広間

一 出席者

- (一) 日本側(出席者席次、別添2)
- (イ) 佐藤総理、愛知外務大臣(調印者)、閣僚全員
- (ロ) 木村、小池、湊、栗山各副長官
- (ハ) 外務省
大臣、竹内政務次官、森事務次官、高瀬大使、東郷次侯
(前アメリカ局長)、吉野アメリカ局長、井川条約局長、
中島条約課長、千葉北米第一課長(進行係)

(ニ) その他省庁、総理秘書官

岡部対策庁長官、新井法制局第三部長、翁首席参事官、総
理秘書官四名

(ホ) 沖繩

星立法院議長、平田首席判事、瀬長復帰準備委員代理

(二) アメリカ側

(別添3参照)

(三) 式場配置図

(別添4参照)

一 式次第

(別添1参照)

進行係 千葉北米第一課長

(なお、進行係は、米側に対しては呼びかけないので、
第三者話法を用いる。)

式次第

一 着席

(一) 九時

総理、官房長官、愛知大臣並びにマイヤー大使以外の出席者
(日米双方)は、八時五十五分各控室より式場へ向い、九時までに着席。

(二) 九時四分五十秒

総理、官房長官、愛知大臣並びにマイヤー大使は九時四分三十秒に入場し、九時四分五十秒までに着席。

総理は総理席、官房長官及び愛知大臣は閣僚席、またマイヤー大使は米側席前列の大使席に着席。

二 写真撮影

(九時五分より九時七分三十秒まで)二分三十秒間)

別添

三 国歌吹奏

(九時七分三十秒から九時九分五十五秒まで)二分二十五秒)

(進行係)「ただ今より沖繩返還協定の調印式が開始されます。国歌吹奏を行ないますので、御起立願います。」

(両国歌吹奏)

(君が代、米国歌の順。それぞれ四十五秒、一分十八秒。)

(進行係)「御着席願います。」

四 ロジャーズ長官及び愛知大臣による開会の挨拶

(九時十分より九時十七分まで)各三分三十秒、計七分)

(注：米国内ではこれよりテレビ放映開始の予定)

○九時十分より九時十三分三十秒まで)三分三十秒

(進行係)「調印に先立ち、ロジャーズ國務長官及び愛知外務大臣より御挨拶がございます。」

(ロジャーズ長官)「スピーチ台へ。同時通訳。」

「.....」

○九時十三分三十秒より九時十七分まで(三分三十秒)

(進行係)「外務大臣どうぞ。」

(愛知大臣)「閣僚席より日本側スピーチ台へ。同時通訳。」

「.....」

(終了後閣僚席へもどる。)

三 協定調印

(九時十七分より九時十八分三十秒まで(一分三十秒))

(進行係)「日本側愛知外務大臣、米側ロジャーズ國務長官により協定へそれぞれ署名が行なわれます。」

(愛知大臣及びマイヤー大使は、それぞれ閣僚席並びに大使席より調印台へ移る。)

(愛知大臣、ロジャーズ長官、協定へそれぞれ署名する。)

六 佐藤総理挨拶(同時通訳)

(九時十八分三十秒より九時二十二分三十秒まで(四分))

(進行係)「調印は無事終了いたしました。引続き佐藤内閣総理大臣の御挨拶がございます。」

(佐藤総理)「日本側スピーチ台へ。同時通訳。」

「.....」

七 ニクソン大統領挨拶(未定。同時通訳)

(九時二十二分三十秒より九時二十四分^{三十秒}まで(二分))

(進行係)「ここでニクソン大統領の御挨拶がございます。」

(ニクソン大統領)「.....」

ハ 愛知大臣、マイヤー大使によるその他の文書署名

(九時二十四分三十秒より九時三十二分三十秒まで(八分))

(進行係)「引続きその他の関連文書への署名が愛知大臣とマイヤー大使の間で行なわれます。」

(愛知大臣、マイヤー大使署名する。)

九 愛知大臣及びマイヤー大使スピーチ

(九時三十二分三十秒より九時三十三分三十秒まで(一分))

(進行係)「これにて沖繩返還に関する日米間の合意文書の調印はすべて終了いたしました。これより愛知外務大臣、マイヤー大使より一言ずつ御挨拶がございます。」

(愛知大臣)(愛知大臣は調印台より日本側スピーチ台へ。同時通訳)

「.....」

(終了後閣僚席へ。)

(九時三十三分三十秒より九時三十七分三十秒まで(四分))

(マイヤー大使)(マイヤー大使は調印台から米側スピーチ台へ。同時通訳。式場では日本語訳テキスト配布。)

「.....」

(終了後米側席前列の大使席へ。)

一〇 乾杯(佐藤総理の音頭)(総理は総理席で御起立の上発声。同時通訳)

(九時三十七分三十秒より九時三十九分三十秒まで(二分))

(進行係)「佐藤総理の御発声により乾杯が行なわれます。」

(この間出席者全員にシャムペングラス配る。全員起立。)

(佐藤総理)「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

(乾杯する。)

(進行係)「以上をもちまして調印式は終了いたしました。皆様の御協力に感謝いたします。」

別添 2

(日本側出席者)

- | | |
|-----------|----------------|
| ○ 総 理 | ○ 星 立法院議長 |
| | ○ 平田首席判事 |
| | ○ 瀬長復平海軍少将顧問代理 |
| (閣僚席) | (第 2 列) |
| 1. 外務大臣 | 19. 木村副長官 |
| 2. 官房長官 | 20. 小池 " |
| 3. 総務長官 | 21. 湊 " |
| 4. 法務大臣 | 22. 栗山 " |
| 5. 大蔵大臣 | 23. 竹内外務政務次官 |
| 6. 文部大臣 | 24. 森外務事務次官 |
| 7. 厚生大臣 | 25. 岡部対策庁長官 |
| 8. 農林大臣 | 26. 高瀬 大使 |
| 9. 通産大臣 | 27. 東郷 大使 |
| 10. 運輸大臣 | 28. 吉野アメリカ局長 |
| 11. 郵政大臣 | 29. 井川条約局長 |
| 12. 労働大臣 | 30. 新井法制局 3部長 |
| 13. 建設大臣 | 31. 翁首席参事官 |
| 14. 行管長官 | 32. 中島条約課長 |
| 15. 防衛長官 | 33. 総理秘書官 |
| 16. 経企長官 | 34. " |
| 17. 科技長官 | 35. " |
| 18. 法制局長官 | 36. " |
| | 37. " |

(進行係 千葉北米第一課長)

別添 3

米側出席者リスト

46. 6. 17. 現在

§ 米側出席者 (前列着席者 序列)

1. Ambassador Armin H. Meyer
2. Minister Richard L. Sneider
3. Lieutenant General James P. Lampert, United States Army
4. Lieutenant General G. M. Graham, United States Air Force
5. Mr. Alan Carter, Minister-Counselor for Public Affairs,
6. Vice Admiral Walter L. Curtis, United States Navy
7. Major General Richard M. Lee, United States Army
8. Mr. Howard Meyers, Political/Military Counselor
9. Mr. William C. Sherman, Political Counselor
10. Mr. Peter W. Lande, Economic Counselor

§ 米側その他出席者 (後列 順序不同)

- 在米大使館
 - Mr. Charles A. Schmitz, Legal Adviser
 - Mr. W. Lawrence Dutton, Jr., First Secretary
 - Mr. James J. Wickel, Special Assistant
 - Mr. Dalton V. Killion, Second Secretary
 - Mr. Thomas Parker, Jr., Second Secretary
 - Mr. David I. Hitchcock, First Secretary

○ 沖縄返還交渉軍事顧問団

- Colonel C. Griffin Moody, United States Marine Corps
- Captain Robert J. Harlow, United States Navy

○ 在日米軍

- Colonel Charles S. Townshehd, United States Air Force

○ 沖縄

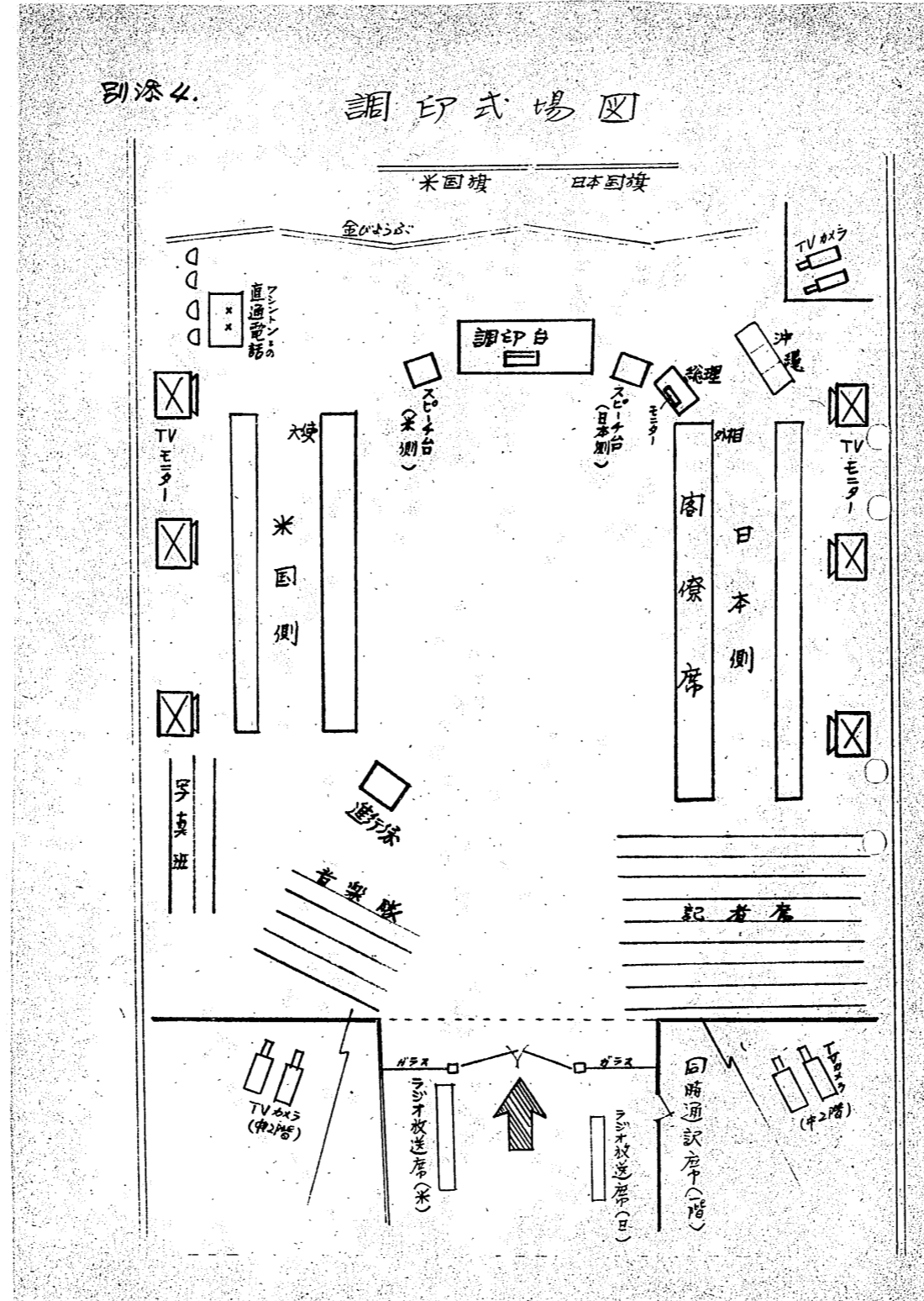
- Colonel John A. Meads, Jr., United States Army

○ 國務省

- Mr. Charles Bevans, State Department

別添4.

調印式場図



北米第一課長 用

極 秘
無 期 限
10部の内
7号

署名の手順等

4.6.6.16

I 署名式で署名すべき文書

(大臣署名箇所)

(1) 協定 (英・和各1箇所)

(2) 合意議事録 (英・和各2箇所)

(3) VOA公文 (和 / 箇所)

(4) 海没公文 (和 / 箇所)

国会に参考提出

関連文書

2 施設了解覚書 (英・和各2箇所)

(その他の関連文書)

(注1 外資レターは、事前に署名のうえ、署名式と関係せず
に手交。日付は、/7日)

(注2 航空覚書は、吉野局長・スナイダー公使間で別途署名。
日付は、/7日)

II 関連文書の署名手順

(1) 合意議事録 (日本側分) → 米側へ

(2) 合意議事録 (米側分) ← 米側より

(3) 日本側書簡 2

(4) 施設了解覚書 (日本側分) → 米側へ

(5) 施設了解覚書 (米側分) ← 米側より

(6) 署名済み文書一括交換 ・ 握手

III 署名道具

(1) ペン・インキつぼ等 2組

(2) すずり箱

編纂室で取りそろえる。

IV シール

(1) 道具及び人員は、外務省より。

(文書課2名、編纂室2名、柳井立会い。)

(2) 場所：官邸2階の1室を留保済み。

V 署名立会い

(1) 協定 (大臣) 柳井

(2) 関連文書 (大臣側) 柳井

(大使側) 有馬

沖繩返還協定調印式中継

項目	時間	カメラ	調印式々次等	放送 音	音内 PA
着席	21'00'00"		これまでに日米双方の出席者着席		
	03'00"頃	① 全景	(スタジオ再放送)		
翌日	04'30"		総理、官房長官、外相、マイク大使入場着席		
	04'50"				
	05'00" 07'30"				
国歌吹奏	✓ 07'50"	① 全景 W-T ② 楽隊 ③ 両口旗 ④ 日本側 PAN→ZB ⑤ 全景 ⑥ 両口旗 PAN ⑦ 日本側 JPT→PAN ⑧ 両口旗 ⑨ 全景	<p>① 全景</p> <p>ただ今より、沖繩返還協定の調印式が開始されます 国歌吹奏を行いますので、ご定立願います。」</p> <p>「君が代」吹奏(45")</p> <p>△「米国歌」吹奏(1'18")</p>		
	(09'55")	① 全景	<p>「ご着席願います」</p> <p>「調印に先立ち、ロジャース國務長官、および愛知外務大臣による開会のご挨拶がござります。」</p>		
ロジャース大使挨拶	(10'00")	① 全景 ② 総理 ③ 外務大臣	△ロジャース國務長官(ロジャース)立ち挨拶 同所通訳 ミエムズ、カンケル	○	○
	(13'30")	① BS→W-T PAN ZB W-T ② FS ③ BS→ZB 録	△愛知外務大臣、両隣席から日本側スピーチ台へ △スピーチ台で挨拶。 △隣席へもどる。		
愛知挨拶	(17'00")	① 全景 ↓ Z1	<p>「日本側」愛知外務大臣、米側ロジャース國務長官により 協定入それぞれ署名が行われます。」</p> <p>△愛知、ロジャース、それぞれ前印台へ</p>		
協定調印	(18'30")	① 全景 ② 2.S ③ サムライ J ④ I.S J ⑤ 全景	(愛知、マイクはそまき 調印台に着席)		

項目	時間	カウ	式次第	施設	PA
総理大臣挨拶	(18'30")	① 全景 ② 総理 BS F.S. B.S. → 総 [⑤ 2ヤ-]	<p>【司会】 「ただ今歴史的文書に署名が行われました。引続いて、佐藤内閣総理大臣のご挨拶がございませう。」 △総理席より、スピーチ台へ</p>		<p>○ ○</p>
ミクニ大統領挨拶	(22'30") (24'30")	① 全景 ② 総理 外相 中継 [⑤ 2ヤ-]	<p>【司会】 「佐藤総理のご挨拶でした。ここでニクソン大統領のご挨拶がございませう。」 同時通訳 カウケル</p>		<p>○ ○</p>
付属文書署名	(24'30")	① 全景 ↓ 調印台 F.S. ② 2ヤ- 1.S. ③ 2ヤ- 1.S. ④ 2ヤ- 1.S. ⑤ 2.S.	<p>【司会】 「引き続き、その他の関連文書への署名が、愛知大臣と2ヤ-大使の間で行われます。」 △愛知、2ヤ- 署名する。</p>		
愛知外務大臣挨拶	(28'30") (29'30")	① 全景 ② 2.S. ③ F.S. ④ 2.S. ⑤ 2ヤ- 1.S. [⑥ 愛知 F.S. → 全景]	<p>【司会】 「これにて、中継返還に関する、日米間の合意文書の調印はすべて終了いたしました。昨年6月以来1年有餘、交渉当時者として努めてこられた愛知外務大臣、2ヤ-大使より一言ずつご挨拶がございませう。」 △愛知、調印台よりスピーチ台へ。 △愛知 自席へもどる。</p>		<p>○ ○</p>

